

**6次化で魅力倍増!**

**第1回そうそう・6次化ネットワークを開催!**  
～農林漁業者と食品加工業者らが交流～

7月1日と2日の両日、そうそう・地域産業6次化推進会議の主催による相双地方で初の「そうそう・6次化ネットワーク」を開催しました。この催しは、相双地方の豊かな農林水産資源を活用し、農商工連携などにより、新たな地域産業を創出して、地域の活性化を図るのが目的です。

1日は「農林水産物加工技術相談会」を、南相馬市民情報交流センターで行い、事前に申し込みのあった直売所の関係者など8団体の相談に、県産品加工支援センター職員らが対応しました。参加者は「この農産物を使って、新たな加工品を作りたい」など、熱心に相談していました。

2日は、「交流会&個別相談」を福島県立テクノアカデミー浜で行い、ネットワークの会員をはじめ、地域産業6次化に関心のある人など、約50名が参加しました。意見交換会では、ふくしま農商工連携ファンドの交付を受けた有限会社福相食品工業の末永氏など12名の方に、連携に向けた自己PR等を発表していただきました。また会場に特産品や取組を紹介するブースを設け、加工品や取組み内容を紹介していただきました。自由交流の時間には、発表者やブース展示者と参加者による沢山の意見交換の場が見受けられるなど、活発で有意義な交流会となりました。(企画部)



**おしらせ**

**福島県の口蹄疫への対応について**

宮崎県の口蹄疫の発生を受け、福島県でも、口蹄疫防疫対策会議を開催し、宮崎県の口蹄疫発生状況の報告や、宮崎県外に拡大した場合の口蹄疫対策本部の設置と感染拡大防止のための方針を決定しました。

これを受けて相双地方においても地方連絡会議を開催し、県対策本部が設立された場合の各機関連絡分担などについて協議し、迅速な情報の伝達と共有化の徹底を図りました。

また、口蹄疫防疫対策の更なる強化対策として、福島県より116t(1袋20kg換算5,800袋)の消石灰を管内全ての畜産農家等へ対し、家畜飼養頭数に応じて配付し、防疫対策と予防の重要性の喚起をしました。

現在、宮崎県の口蹄疫については沈静化しましたが、今後も、日々の監視体制の強化のほか、万一の発生の場合において、冷静かつ的確な対応がとれるよう備えておくことが重要であることから、必要な情報の伝達と防疫対策の普及・啓発を継続することとしています。(農業振興普及部)

※ 口蹄疫とは

口蹄疫ウイルス(Picornaviridae Aphthovirus)が原因で牛、水牛、めん羊、山羊、豚、しか、いのしし等の偶蹄類が感染する病気。治療法はなく、発生した場合は、家畜伝染病予防法に基づき、まん延防止のため家畜の所有者によると殺が義務付けられている。症状としては、突然40～41℃の発熱、多量のよだれや口、蹄、乳頭等に水疱(水ぶくれ)を形成し、足を引きずる症状が見られる。

**食育・地産地消関連情報**

**より安全安心な食材を学校給食へ**  
～広野町二つ沼公園直売所の取り組み～

6月28日に、二つ沼公園直売所組合員に対する農薬適正使用に関する研修会及び栄養教諭との意見交換会が行われました。

この直売所では、町内の小中学校に給食を供給する広野町学校給食共同調理場に、ほぼ毎日食材を供給しています。

組合員の皆さんは、自分の子供や孫たちが消費者であることから、安全安心への意識は非常に高いものがあります。

研修会では、最初に、双葉農業普及所の柳沼副主査から、農薬の上手な使い方や疑わしい資材は使用しないこと、使用したら必ず記帳することなどの話がありました。

直売所から給食の食材を供給する場合は生産履歴記帳を添えて提出していますが、そのことは共同調理場からも「とても信頼できる」と評価されているようでした。

続いての意見交換会では、学校栄養教諭の鈴木洋子先生より、児童の様子や調理の苦労などについての話がありました。児童・生徒に配られる「ランチタイムニュース」はその日の食材について書かれており、「食への関心が高まり食べ残しが減った」など、とても良い影響があるそうです。また、野菜の出荷時期や出荷量について、事前に詳しい情報があれば、給食に使う量も増やせるとのことでした。

規格の揃ったものを、最小限の農薬で生産するのは大変ですが、「子供たちに安全安心なものを食べてもらうためにこれからもがんばりたい。」と、組合員の皆さんは話していました。(双葉農業普及所)



**そうそう、あの方**

**村上真平・日苗さん  
ご夫妻を紹介します。**



お二人は飯館村で農業を営む傍ら、農家民宿・レストラン「なな色の空」を運営しています。

真平さんは、海外で農業指導等を行うなかで「貧しい国の犠牲があって豊かな国がある。」ことを痛感しました。そのことから、「自分で作れるものは自分で作り、自然を汚さない生活がしたい。」という考えに辿り着き、8年前に飯館村に移り住み農業を始められました。現在では、約1.2haの農地を利用して、年間30種類以上の穀物や野菜を栽培しています。

日苗さんは、他県で自然食レストランに勤めていましたが、真平さんの生き方に共感し、飯館村に移り住み「なな色の空」を始めました。「なな色の空」では、毎日心を込めたお持てなしを心がけており、マクロビオティックと呼ばれる考え方にに基づき、全ての料理を、動物性の食材や砂糖等を使わずに提供しています。

現在、村上さんの下には、農家を目指す方々が集まり活動を共にしています。「二人ではできないことも仲間と助け合いながら活動していきたい。ここを真剣に農業をやりたい人の学びの場としていきたい。」と今後の抱負を語ってくれました。(企画部)

現在、村上さんの下には、農家を目指す方々が集まり活動を共にしています。「二人ではできないことも仲間と助け合いながら活動していきたい。ここを真剣に農業をやりたい人の学びの場としていきたい。」と今後の抱負を語ってくれました。(企画部)

## 「いきいき ふくしま農林水産業振興プラン」 における相双地方の振興方向と取組について

当地方の特色や農林水産業の現状と課題を踏まえ振興方向は、「山・川・海の豊かな自然と多彩な地域資源が調和した農林水産業の展開」です。

これを進めるため、冬季温暖な気候や豊かな森林資源、良好な漁場など、当地方の地域特性を活かした農林水産業の振興と、阿武隈高地や松川浦などの豊かな自然や優れた伝統文化等の地域資源を生かした農山漁村の活性化に以下の4項目を柱として取り組むこととしております。

- 1 豊かな地域資源を生かした農山漁村の活性化
- 2 冬季温暖な気候を生かした農業の振興
- 3 豊かな森林資源を生かした林業・木材産業の振興
- 4 良好な漁場を生かした水産業の振興

(企画部)

## トピックス

### 県産間伐材で作られた 机・椅子が導入されました

飯館村立飯館中学校に、県産スギ材を使用した生徒用の机・椅子200セットが平成22年3月に導入されました。

今回導入されたのは、森林整備を行った際に発生した間伐材を使用したもので、地域の森林や木材の活用について、生徒たちに理解を深めてもらう事を目的としています。

生徒たちは、木の色、肌ざわり、香りを通して木のぬくもりを感じながら、楽しい学校生活を送っております。  
(森林林業部)



### お米作りを学習体験!! ~うつくしま田んぼの学校~

「うつくしま田んぼの学校」は、古くから営まれてきた田んぼや水路、ため池、里山などを遊びと学びの場とし、米作りなどを通して、農業や農村の自然環境について、子供たちに理解を深めてもらうことを目的に実施しています。

相双地方では、昨年に引き続き富岡町立富岡第二小学校の3年生90名を対象に実施しており、田植えを5月25日に行いました。初めて田植えを行う児童もいましたが、小さい手できれいに植えることが出来ました。天候の不順で稲の生育が心配されましたが、7月現在で例年並みに育っています。

7月に予定していた草取りは天候の関係で残念ながら中止となりましたが、引き続き地域の応援団(大原地区邑づくり推進協議会)の方々のご支援をいただき、案山子立て、稲刈り、脱穀、学習発表会(収穫祭)などに挑戦し、12月まで米作りについて学んでいくことにしています。

(農村整備部)



田植えの様子

## 担い手紹介



合同会社福相農園  
代表 渡邊春治氏

農外企業等の農業参入は県内でも増加しており、新たな担い手として注目されています。

今回、「合同会社福相農園」について紹介いたします。

この合同会社は、飯館村の認定農業者であり、(有)福相建設の社長でもあります。渡邊春治氏が本格的に農業を行うために今年設立されたものです。

今年度、借入した農地に、ばれいしょ1ha、ブロッコリー3haを作付けしました。今後、農地を拡大して、タマネギの栽培や、ハウスを使ったハーブの試験栽培も計画しています。現在、村と耕作放棄地の現況を確認しながら、規模拡大のためのまとまりのある農地を探しています。

規模拡大を進めるうえでの経営上の問題点は「農産物価格の低迷が続いていることと、農作業機械の導入や鳥獣害防止対策に費用がかかりすぎる」としつつも、「雇用を確保しつつ、耕作放棄地の再生と地域農業の活性化を目指すため、関係機関と連携し、今後とも耕作放棄地の利用を図っていきたい。」と代表の渡邊氏は力強く決意を語ってくださいました。

合同会社という、新たな形での担い手のモデルケースとして、この合同会社の行う農業がますます発展されることを期待しています。  
(農業振興普及部)

## おしらせ 平成22年度第1回新たな担い手 園芸セミナーを開催します!

双葉郡内で本格的に野菜栽培に取り組もうと考えている方々向けに、園芸セミナーを開催します。栽培や販売についての説明会や現地研修会など、これから就農する方にわかりやすい内容となっております。興味のある方はぜひご参加ください!

- 日時：平成22年8月28日(土)13:00~17:00
- 会場：JAふたば北部営農センター(双葉町)
- 内容：説明会および現地研修会  
(自家用車での移動となります)

### (1) 説明会

#### ア マーケティング講座

- ・双葉郡内の園芸農産物出荷販売状況について  
(全農福島浜通り営農事業所)
- ・生産した農産物の出荷販売について  
(JAふたば)

#### イ 園芸講座(相双農林事務所双葉農業普及所)

- ・ネギ栽培のポイントについて
- ・ブロッコリー栽培のポイントについて

### (2) 現地研修会

- ・ネギ、ブロッコリー栽培農家  
(浪江町酒田 渡部泰明氏)

### ■申し込み方法

8月16日から23日までに電話もしくはFAXでお申し込みください(氏名、住所、電話番号、年齢)。

定員30名になり次第、受付を締め切らせていただきますのでご了承ください。

- 申し込み先：相双農林事務所双葉農業普及所  
TEL 0240-22-3159 FAX 0240-22-3735



ご意見・ご感想・PRしたい情報などをお寄せ下さい。  
**福島県相双農林事務所 企画部**

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地

TEL:0244-26-1153 FAX:0244-26-1181

ホームページアドレス <http://www.pref.fukushima.jp/norin-sousou/>

